

伊集院保健所感染症情報

2023年第37週（令和5年9月11日～令和5年9月17日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症



今週のインフルエンザ・COVID-19 の報告数は先週とくらべて増加しました。基本的な感染対策（換気、手指消毒、咳エチケット、混雑した場面や重症化リスクがある方と接触する際のマスク着用、共用部分の消毒等）をもう一度確認しましょう！**高齢の方と会う場合や大人数で集まる場合は、体調を整えて感染予防を心がけましょう。**



定点医療機関【インフルエンザ5、小児科3、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第34週	第35週	第36週	第37週	先週からの増減	第36週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	1.60	1.40	1.00	1.60	↗	3.71	↗
COVID-19	-	-	-	13.80	16.60	15.20	19.60	↗	15.19	↗
咽頭結膜熱	3	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.69	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	0.00	1.33	1.33	1.67	↗	0.85	↗
感染性胃腸炎	20	12	-	0.33	0.00	0.00	0.00	→	3.81	↗
水痘	2	1	1	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
手足口病	5	2	-	0.33	1.33	1.33	1.67	↗	1.77	↗
伝染性紅斑	2	1	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.33	0.00	0.33	↗	0.25	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	1.00	0.00	0.00	0.00	→	1.06	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.06	↗
R S ウイルス感染症	-	-	-	0.67	1.67	2.33	2.33	→	0.79	↘
基幹定点からの届出状況	該当なし									
インフルエンザ入院サーベイランス	該当なし									
全数報告（かっこ内は本年の累積数）	該当なし									

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

● TOPIC 災害時における避難所での感染症対策

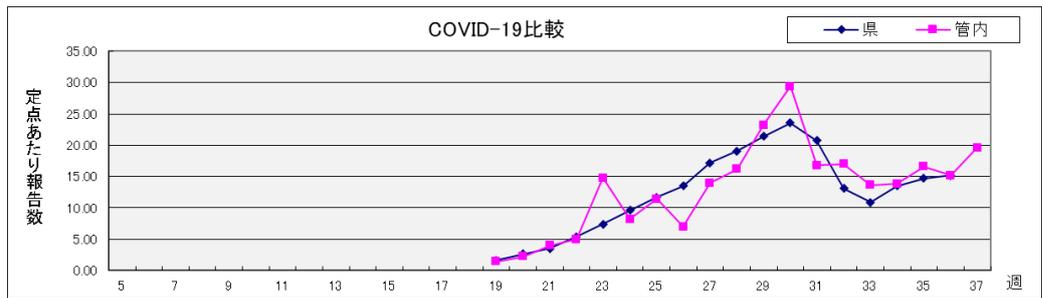
7月から10月にかけては台風や大雨が多い時期です。災害時には感染症の拡大リスクが高まります。特に避難所では、衛生状態を保つことが大切です。飛沫感染や空気感染により感染が拡大する恐れがあるため、以下のことに気をつけましょう。

- ・感染症に「自分がかからない」ように、流水での手洗いを行いましょう。水が使用できない場合には、アルコールを含んだ手指消毒薬を使用しましょう。
- ・「他人にうつさない」ために咳やくしゃみが出る時は、咳エチケット（咳やくしゃみが出る時にはマスクを着ける、マスクが無い場合には、ティッシュや二の腕等で口と鼻を覆う）を行いましょう。
- ・居住区域は土足厳禁を徹底しましょう。
- ・トイレは清潔を保つために、定期的に清掃をしましょう。
- ・嘔吐・下痢・発熱などの症状がある場合は、すぐに避難所の職員等に知らせましょう。

● 注意すべき感染症

・ COVID-19（新型コロナウイルス感染症）

今週の伊集院保健所管内における COVID-19 の報告数は、前週の 76 人（定点あたり 15.20）から 22 人多い 98 人（19.60）でし

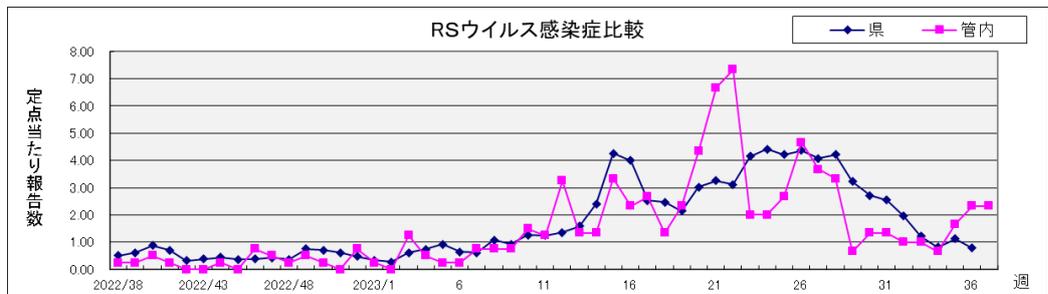


た。年齢別では、10～14 歳（26 人）、15～19 歳（10 人）、7 歳・30～39 歳（各 9 人）の順で多い報告でした。

☆**新型コロナ療養の目安**：発症日（無症状の場合は陽性となった検査の検体採取日）から 5 日を経過し、かつ症状が軽快して 24 時間経過するまで（学校保健安全法も同様）。また、発症日から 10 日間はマスクを着用し、周りに感染させないようにしましょう。

・ RS ウイルス感染症

今週の伊集院保健所管内における RS ウイルス感染症の報告数は、前週と同数の 7 人（2.33）でした。年齢別では、6～11 ヶ月（3 人）、



0～5 ヶ月・1 歳・2 歳・4 歳（各 1 人）の順に多くなっています。

RS ウイルス感染症は、4～6 日ほどの潜伏期間の後に、発熱、鼻汁など、かぜに似た症状が現れます。新生児や生後 6 か月以内の乳児や基礎疾患を有する小児等が感染すると重症化しやすい傾向があるので、注意が必要です。

感染経路は、「飛まつ感染」、「接触感染」です。感染者と直接、濃厚に接触した場合や、ウイルスの付着したおもちゃやコップ、ドアノブなどに触れたり、なめたりすることによってウイルスが眼や咽頭（のど）、鼻の粘膜に付着して感染します。予防には、咳エチケットや子どもたちが日常に触れるおもちゃ等のこまめな消毒、流水・石けんによる手洗いかまたはアルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況 9/11～9/17

（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

インフルエンザ、COVID-19 の他に、水痘、咽頭結膜熱が報告されています。また、COVID-19 による学級閉鎖が小学校、高校で報告されています。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザ B 型	水痘（みずぼうそう）	咽頭結膜熱	新型コロナ感染症
日置市		0	0	2	1	63
いちき串木野市		1	1	0	0	14
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	1
計		1	1	2	1	78

感染症対策

・せきなどの症状があるときは、人混みへ行くことを控え、人と会う時にはマスクを着用しましょう。

・発熱や咳など、何かしらの症状があるときには、高齢者や基礎疾患をお持ちの方、妊婦さんに会いに行くことは控えましょう。

・石鹸で手をよく洗いましょう。こまめに手指消毒を行いましょう。

・お肉には、腸管出血性大腸菌やサルモネラなどの細菌が付着していたり、ヒトに害を与えるウイルスや寄生虫に感染していたりする場合があります。よく焼いて食べましょう。

・蚊やマダニは感染症を媒介することがあります。刺されないように、長袖・長ズボンを着用し、虫よけ剤を使用しましょう。

・十分な睡眠と栄養バランスの良い食事をとり、体力づくりをしましょう。

